

1054

第八卷 第一

極秘

陸海軍省第一二二號

ノモンハン事件の経過

# 赤軍情報

第十一号

別冊	主務印
八	月
十	日

## 関東軍参謀部

昭和十四年八月七日  
14.8.10  
陸海軍省  
参謀部

陸軍省  
14.8.10  
206  
軍事課

陸軍省  
14.8.12  
3  
軍務課

1055

極秘

昭和十四年八月七日

第二次「ノモンハン」事件ニ伴フ  
赤 軍 情 報 第 十 一 號

關 東 軍 參 謀 部



註

本情報ハ各地區ヨリスル速報ヲ綜合セルモノナルヲ以テ多少ノ誤謬アルヲ免レサルニ付爲念

目次

一 全般	1
二 第一軍方面	1
(イ) 南島地區	1
(ロ) 「ボタロフカ」地區	1
(ハ) 「グロデコウオ」地區	2
(ニ) 「ハンカ」西北岸地區	2
(ホ) 「イマン」地區	2
三 第二軍方面	2
(イ) 哈府地區	2
(ロ) 「ブレーヤ」河地區	2
(ハ) 武市地區	2
四 後貝加爾軍管區方面	2
(イ) 「チタ」—「カイルムスカヤ」—「アツトポール」沿線地區	2

四 「チタ」地区  
五 西伯利亚管区方面  
六 参考情報

3 3 3

## 一、全般

第一、第二軍方面陣地構築作業ハ銳意續行中ナリ、鐵道ノ運行ハ局部的尙加ヲ認ムル地域アルモ全般的ニ特異ノ狀ヲ認メス

後員加爾軍管區ニ於ケル軍事輸送ハ輻輳シアリテ複線ヲ東行ニ專用シテ運送アリ

七月後半期「ウラル」、「シベリヤ」兩軍管區方面ヨリ東方ニ輸送セラレタル軍隊ハ少クモ狙撃一師團、重砲一聯隊、機甲一旅團ノ兵力資材ニシテ自動車及自動貨車約二千輛ニ達シアルカ如シ

## 二、第一軍方面

## (1) 南烏地區

A 七月三十一日「ヤンゴムドイ」ヨリ前樓山ニ進入セル「トラツク」延數二〇〇輛

B 八月一日「ボセツト」港ニ驅逐艦及貨物船各二入港、特務艦

## 四出港

八月一日 香山洞及前樓山ヲ中心トスル小部隊ノ移動及自動車ノ運行頻繁ナリ

(四) 「ボクロフカ」地區

A 「ポルタフカ」東北方八之字山西南麓 175 號「トチカ」附近及「フアデエフスキー」西北方 217 號「トチカ」附近ノ陣地構築作業ハ活況ヲ呈シアリ

八月一日 「ポルタフカ」南方 162 號「トチカ」附近及「コルホカ」東南方 702 「トチカ」土工作業實施中

(五) 「グロデコウオ」地區

A 八月二日 「グラツィーハ」山附近 276 號「トチカ」銃眼ヨリ實彈

射撃ヲ行フ

B 八月二日 「グラツィーハ」山北方 412 高地ヨリ「ソファイエアレク」ニ対スル「ニ」ニ対射戰車砲ト認ムル牽引砲十二門、牽引車十二輛、徒歩兵三五八名ヲ撃ス

C 八月二日夜「グロデコウカ」、「バラノオレンブルグスキー」  
及第二線地區燈火管制實施

D 八月二、三日觀月台正面依然工事ヲ繼續セラレアリ

(二) 「ハンカ」西北岸地區

A 當壁嶺正面ニ七月三十一日無蓋車約一六〇輛ノ運行アリ、多數  
ノ木材等ヲ積載シアリ

B 大頭山障地強化中

O 七月三十一日中型戰車二十一輛、兵舎附近ニ現出「グルシエ  
ワヤ」谷ニ没ス

(附) 「イマン」地區

A 「イマン」、「ラゾ」附近依然燈火管制實施中

B 「イマン」迂回線ノ鐵橋工事ハ二三程度ノ進捗ニシテ晝夜兼  
行工事中

C 七月三十一日南行列車ニ兵員輸送ヲ認ム



D 「ボロウインカ」山ハ依然陣地構築作業中ニシテ八月一日ハ  
夜間作業ヲ實施セリ

且八月一日「ラゾ」六軒塚附近ニ於テ引續キ夜間作業中

### 三 第二軍方面

#### (イ) 哈府地區

労働力及建設材料不足シ作業ヲ中止シアリトノ情報アリ

#### (ロ) 「ブレーヤ」河地區

A 八月二日江岸ヨリ「トラツタ」十七臺ニテ砂利ヲ運搬セリ

B 陣地構築作業依然繼續中

#### (ハ) 武市地區

A 七月二十七日以來燈火管制解除セラレタルモノノ如シ

B 法別拉對岸依然工事繼續中

### 四 後貝加爾區管區方面

(イ) 「チタ」―「カイルムヌカヤ」―「アツトポール」沿線地區

七月下旬本地區ニ於ケル軍事輸送ハ依然活潑ニシテ複線地區ニ於テ兩線路ヲ東行ニ使用シテ運送アリ、大部隊ニハ非サルモ狙撃、航空、砲兵、騎兵、戰車、技術ノ各兵種部隊及多數ノ「トラツタ」、築城及建築諸材料、油類ノ東行相亞キ殊ニ「ボルジヤ」及七九待避驛ニハ夥シキ「トラツタ」、輜重及彈藥車輻輳シ多量ノ軍需品集積セラレアリ、本沿線野營部隊稀ナリ（一旅客談甲）

(四) 「チタ」地區

△七月二十八日「チタ」飛行場ニ「エル」五型機二十七機飛來ス

（註）事件以來當飛行場ニハ本機種ヲ認メサリシヲ以テ戰線ヨリ歸還セルモノカ又ハ新ニ増加セラレタルモノト觀察セラル）

B 七月二十九日西方ヨリ大尉以下ノ騎兵、砲兵、戰車、軍醫、經理將校約百五十名「チタ」ニ下車ス（一旅客談甲）

五 西伯利軍管區方面

A 八月二日「ノウオシピリスク」及「トムスタ」方面ニ於ケル  
地方側「トラツタ」及馬匹ハ置ニ徵發セラレツツアリ

B 八月一日「ノウオシピリスク」方面鐵道ハ依然地方機關ニ對  
シ車輛ノ配給ヲ停止シアルカ如シ

六 參考情報

ノ元後貝加爾軍管區軍事委員「ムルトフ」大佐ハ外蒙「ソ」軍政  
治部長ニ任命セラル

2 「ウラル」機械化軍團ハ軍用列車ニ依リ續々「チタ」ニ到着中  
(七月二十六日頃)

到着部隊ハ「チタ」ニ止リ外蒙ニハ尅カズ、戰車及裝甲自動車  
ノシ「ボルヂヤ」經田外蒙ニ送ラレツツアリ

3 休養中ナリシ第三六師團長代理「フエジユニスキー」ハ原隊  
ニ歸還セリ

子、屯田、  
ハ現在國境ニアル兵力ニ對シ半年分ノ補給ヲ保證シアルモノ  
ノ如シ

5 第一軍「クラスキノ」飛行場ニ爆撃及驅逐部隊「ウオズドワイ  
ゼンカ」ヨリ移動ス

6 第一軍尼市ヨリ「スラウヤンカ」ニ「イボホードフ」ノ指揮ス  
ル重砲兵聯隊派遣セラル

7 蒙「ソ」軍飛行隊増強ノ爲「ツエ。カ。ベ」型飛行機一大隊、  
「オ。カ。オ」型飛行機一大隊及輸送機一部隊外蒙ニ派遣セラ  
レタリ

8 後貝加爾軍管區ハ飛行機ノ機体及發動機ノ豫備ヲ既ニ使用盡シ  
タルモノノ如シ

又蒙「ソ」軍ハ現在ニ於テ驅逐機最モ不足ヲ來シアリ

「ツエ。カ。ベ」型新驅逐機ハ射撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ

容易ニ察墜セラル

- 10. 大平洋艦隊ハ戦闘態勢ニ移レリ
- 11. 北樺太國境部隊ハ大平洋艦隊及第二軍ノ空軍ヲ以テ強化セラル
- 12. 新型潜水艦二戦隊ハ浦鹽ヲ抜錨シ「ソヴエート」灣ニ赴ケリ

1097

第二次「ノモンハン」事件情報記録 第四十三號



用済御焼却

昭和十四年八月  
關東軍參謀部



## 八月六日ノ狀況

## 第一、空中狀況

- 一、六日敵機ハ十八時一十九時ノ間小型十五一〇機ノ編隊飛行ヲ認メタル外小編隊ノ潜入偵察及爆撃機（單機）ヲ以テスル數回ノ飛行ヲ認ムルノミニシテ其行動一般ニ消極的ナリ
- 二、六日ニ於ケル敵後方狀況大ナル變化ヲ認メズ

## 第二、地上部隊ノ狀況

- 一、六日各方面共ニ概シテ平穩ニシテ變化ナシ
- 二、長谷部支隊ハ六日拂曉迄ニ長野部隊ト交代ヲ完了セリ

## 八月七日ノ狀況

## 第一、地上部隊ノ狀況

一、七日四時頃敵ノ狙撃兵約七、八百ハ「スンプル」方面及「クイ」附近ノ砲兵支援ノ下ニ長谷部支隊正面ニ對シ逆襲シ來リシモ交戦約二時間敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ撃退セリ

敵ノ遺棄死体約二百

二、十七時頃ヨリ敵ハ戦闘機七、八〇機ヲ以テ左翼隊ニ向ヒ對地攻撃ヲ實施シ引續キ約十中隊ノ砲兵ヲ以テ左翼隊、長谷部支隊及砲兵陣地ニ向ヒ一齊ニ砲撃ヲ開始シ二十一時三十分ニ及ブ